



平成28年11月8日

各位

上場会社名 株式会社 SANKYO
 代表者 代表取締役社長 筒井 公久
 (コード番号 6417)
 問合せ先責任者 常務執行役員管理本部長 大島 洋子
 (TEL 03-5778-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	135,000	16,000	16,800	11,100	137.00
今回修正予想(B)	90,000	3,000	4,000	2,500	30.86
増減額(B-A)	△45,000	△13,000	△12,800	△8,600	
増減率(%)	△33.3	△81.3	△76.2	△77.5	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	137,130	18,826	19,965	10,485	126.78

修正の理由

当パチンコ・パチスロ業界におきましては平成28年12月末を期限として「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の市場からの回収・撤去を進めておりますが、回収・撤去対象機種数の過半数を占める著名コンテンツとのタイアップシリーズの続編への入替が動きの中心となり、当社グループでは12月に投入予定の「エヴァンゲリオン～いま、目覚めの時～」の受注が順調に推移しております。しかしながら、それらを除くとパチンコパーラーの新台への投資姿勢は慎重さを増しております。また、パチスロにおきまして、「新基準に該当しない回胴式遊技機」の設置比率を順次下げていく取り組みが進められ、一定の進捗がみられるものの、固定ファンの多い旧基準機の撤去機運が盛り上がりにくい状況にあります。当社グループではこうした市場環境や第2 四半期までの販売状況等を踏まえて第3 四半期以降の販売計画を厳しく見積もり、業績予想を見直すことといたしました。これにより、パチンコ機の予想販売台数は297 千台から195 千台、パチスロ機の予想販売台数は80千台から39 千台となります。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株当たり75円(年間配当150円)を変更する予定はございません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上